

5 - 7 潮位記録で見た東海地域の地殻の上下変動

Vertical Movement in the Tokai Area Observed by Tide Gauge Stations

防災科学技術研究所

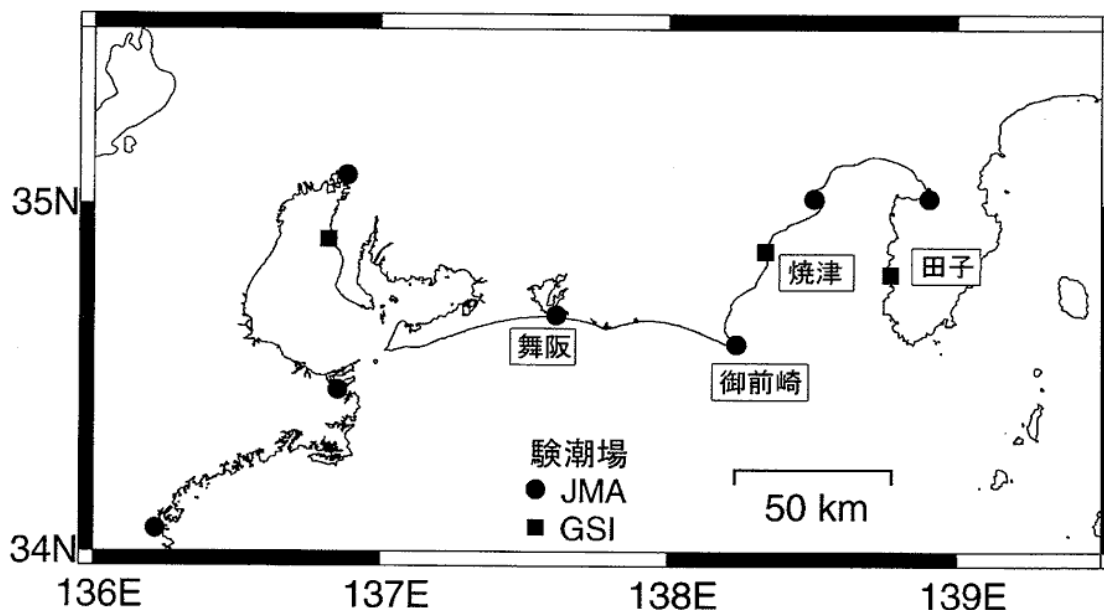
National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

東海地域にある国土地理院と気象庁の験潮場（第1図）の潮位記録から日平均潮位差を計算することによって、地殻の上下変動の調査を行った。潮位差の計算には、津村(1957)¹⁾の方法を改良した Ueda et al. (2001)²⁾の方法を使用した。その結果、気象庁の舞阪・御前崎験潮場で2000年頃からはじまった隆起変動を検出することができた。第2図に、焼津・田子験潮場を基準とした浜松・御前崎験潮場の日平均潮位差を示す。矢印で示した2000年末頃から舞阪・御前崎が基準点に対して相対的に隆起している。2001年末までの隆起量は、それぞれ約5cm、約1cmであり、験潮場に近い国土地理院の浜松・御前崎GPS観測点の隆起量³⁾とほぼ一致する。

(上田英樹)

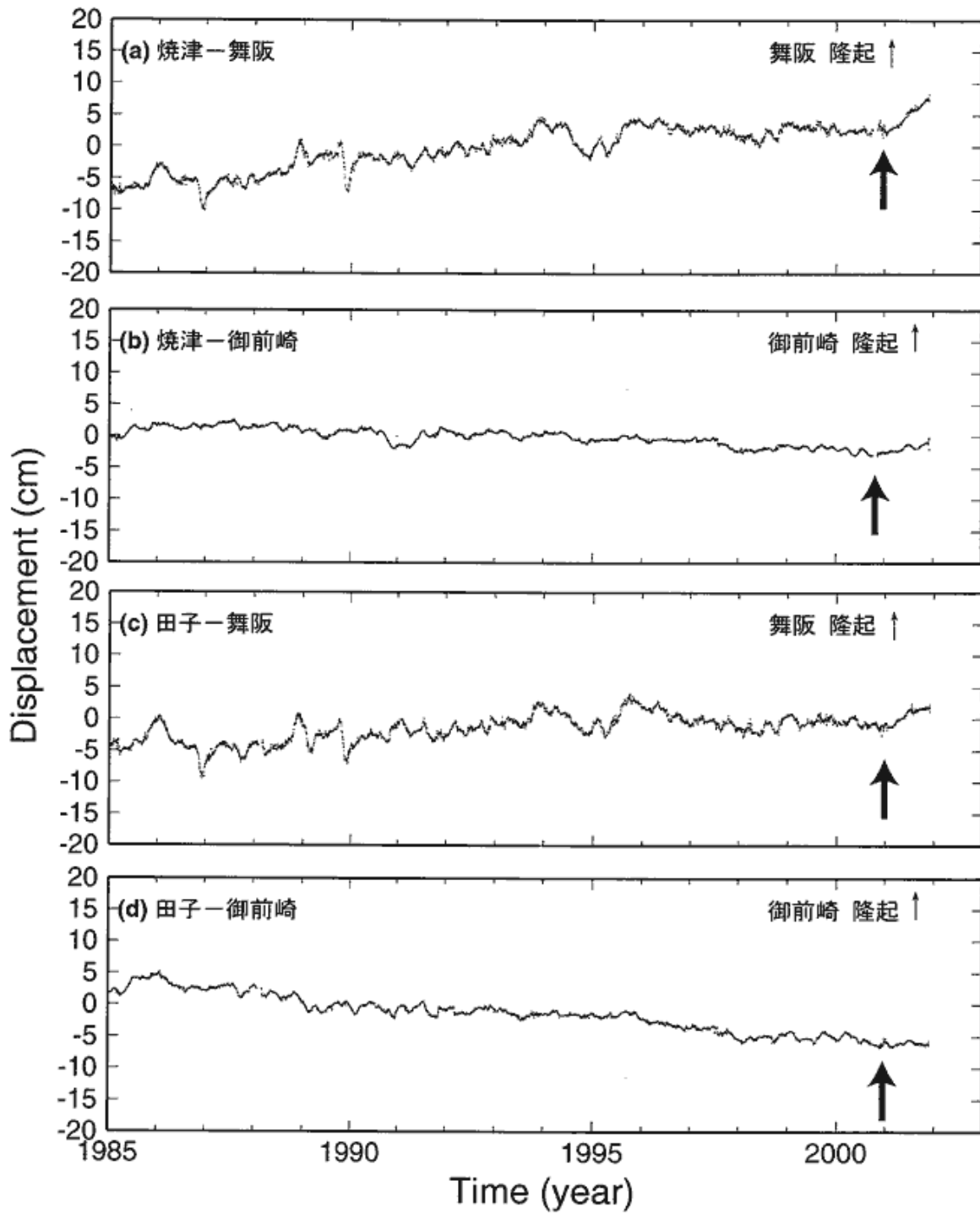
参 考 文 献

- 1) 津村建四郎, 1957, 平均潮位の差から求めた地殻変動の研究, 地震 2, 10, 67-78.
- 2) Ueda, H., M. Ohtake, and H. Sato, 2001, Afterslip of the plate interface following the 1978 Miyagi-Oki, Japan, earthquake, as revealed from geodetic measurement data, Tectonophysics, 338, 45-57.
- 3) 国土地理院, 2002, 第148回地震予知連絡会提出資料



第1図 験潮場の分布

Fig.1 Tide gauge stations in the Tokai area



第 2 図 烧津・田子を基準とした舞阪・御前崎験潮場の日平均潮位差

Fig.2 Differences of daily mean tide records. (a)Yaizu-Maisaka, (b)Yaizu-Omaezaki, (c)Tago-Maisaka, (d)Tago-Omaezaki.